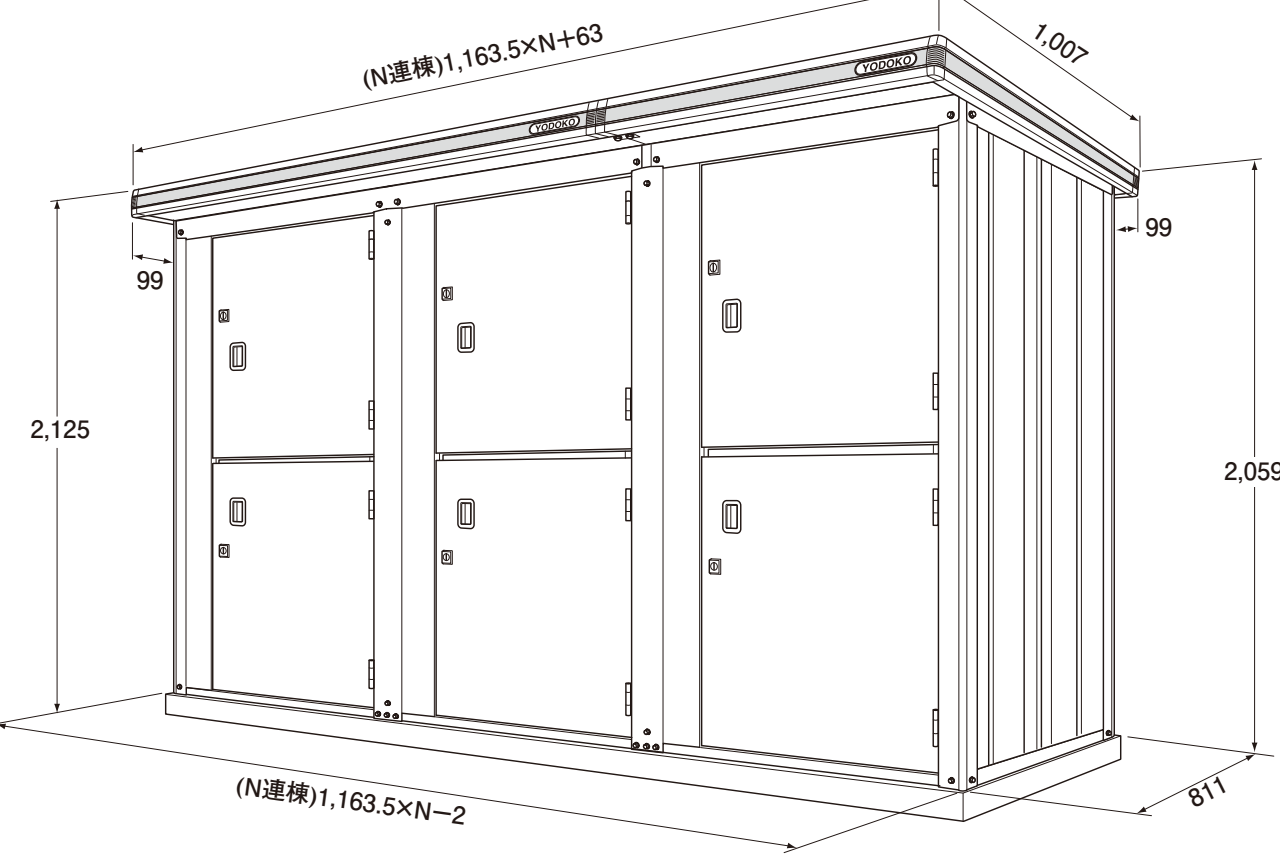


ヨド物置 エルモ 連続型

組立説明書 LLD-1108N型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」を必ずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。

※この組立説明書は「1108N×3連続」の絵で説明していますが、何連続でも手順は同じです。
「梱包組合せ表」「梱包内容表」「基礎施工例(参考図)」については、別紙をご確認ください。
よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者にご依頼ください。)



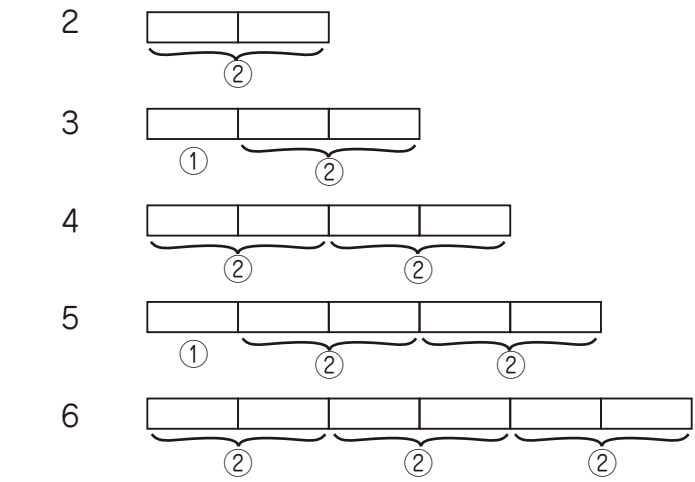
鍵は部品箱の中に入っています。



注意 本機種の前後材(下枠前、下枠後、上枠前、上枠後、鼻隠し前、鼻隠し後)は単棟用と2連続用で構成されておりますが、連続数に応じてその組み合わせが異なりますので、施工前に下図を御確認ください。

<前後材の組み合わせ> ①:単棟用部材 ②:2連続用部材

連続数



※奇数連続の場合は①が1か所入ります。①はどこでも施工可能ですが、梱包の組み合わせは正面向かって左端を①として設定しています。

●設置場所の制限

△注意

- 1.建物の屋上には設置しないでください。
- 2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 3.大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 4.崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 5.給湯器の前には設置しないでください。

●施工前の注意点

△注意

- 1.アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
- 2.ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.重い部材・梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
- 5.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 6.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 7.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

●施工時の注意点

△注意

- 1.まずご注文通りの商品かどうかを別紙の梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
- 2.部材の共通化のため、実際には使用しない孔の空いている部材がありますが、説明書に従って組み立ててください。
- 3.部材名称の左右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組み立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を調整してください。
- 5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)

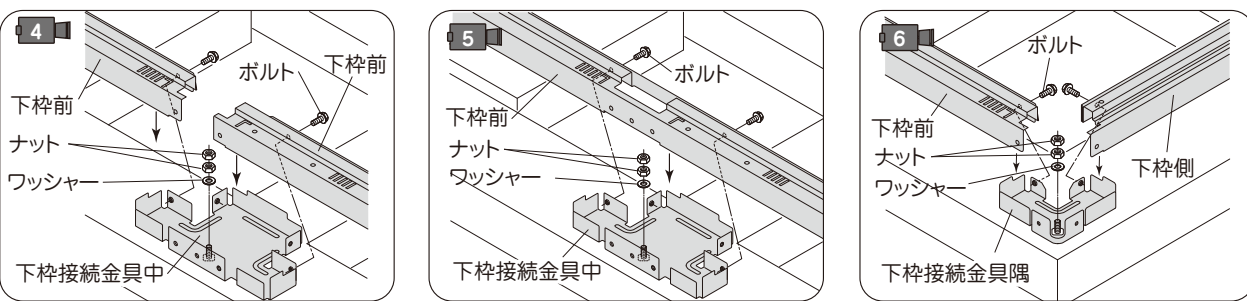
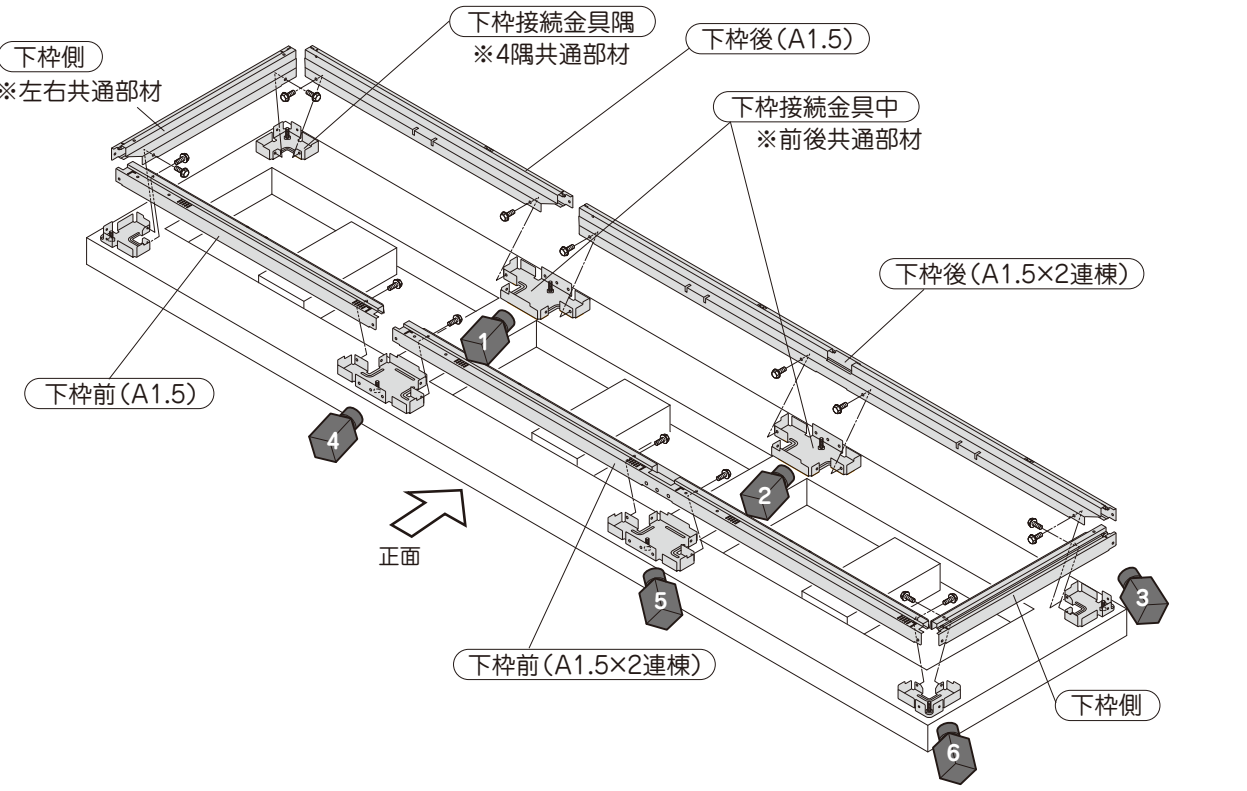
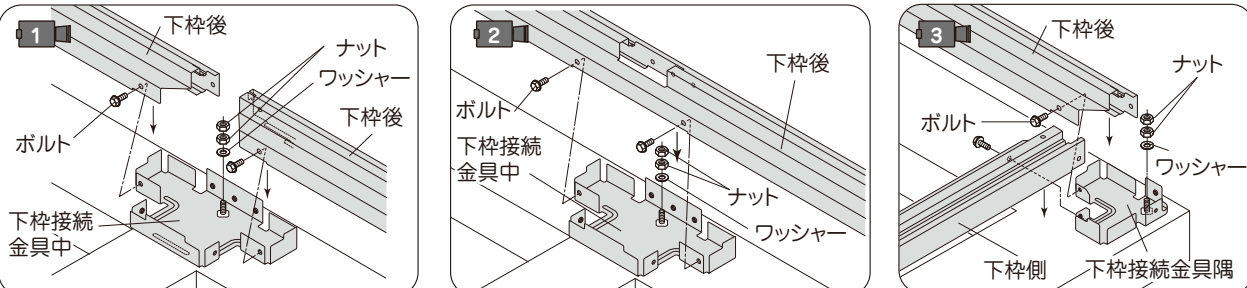
・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6ボルト、アンカーボルト締結用のスパナ又はモンキーベンチ等工具
・+ドライバー ・-ドライバー ・ハンマー ・W1/2用アンカーボルト・ナット・ワッシャー

●使用ビス(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)



1 下枠接続金具・下枠前後・側の組立

- ① (下枠接続金具隅・下枠接続金具中)のひし形の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャーとナット×2で固定します。
- ② (下枠前・下枠後・下枠側)を上からかぶせてボルト止めします。①~⑥



拡大図は全体図のカメラ ① の視点から見た図になっています。

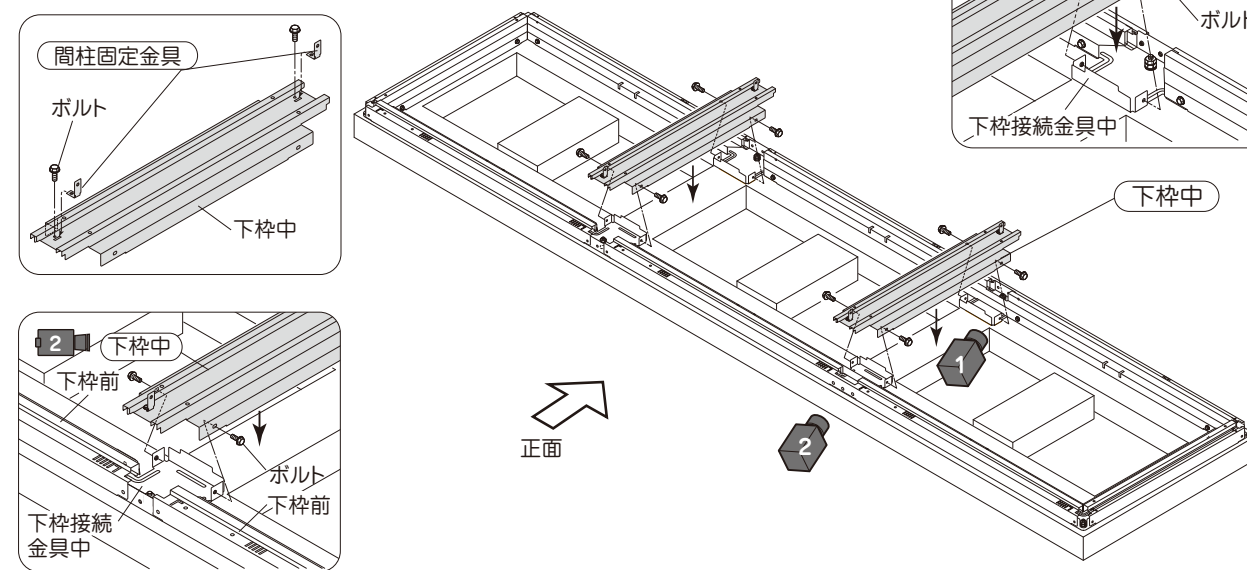


注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。基礎の水平が出ていないとドアがスムーズに開閉しなかったり鍵がかかりにくくなったりします。

2 下枠中の取付け

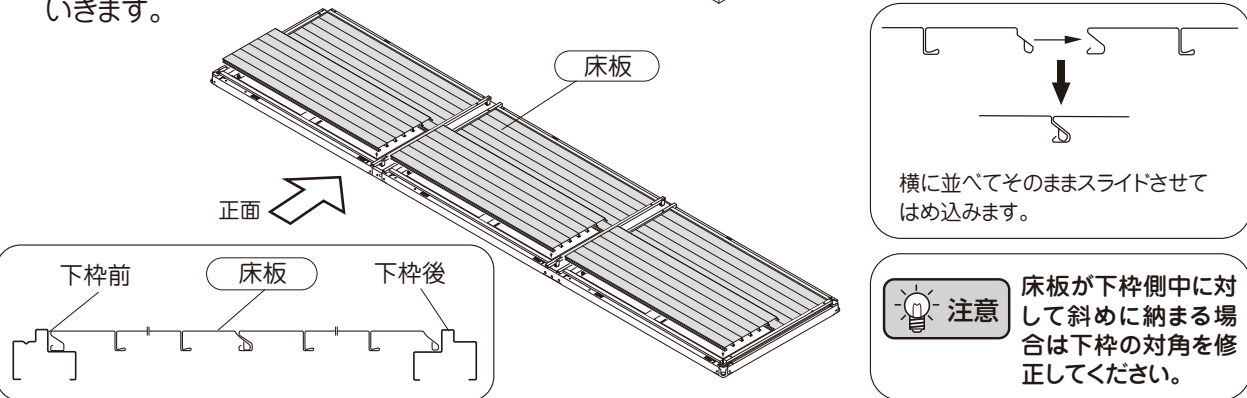
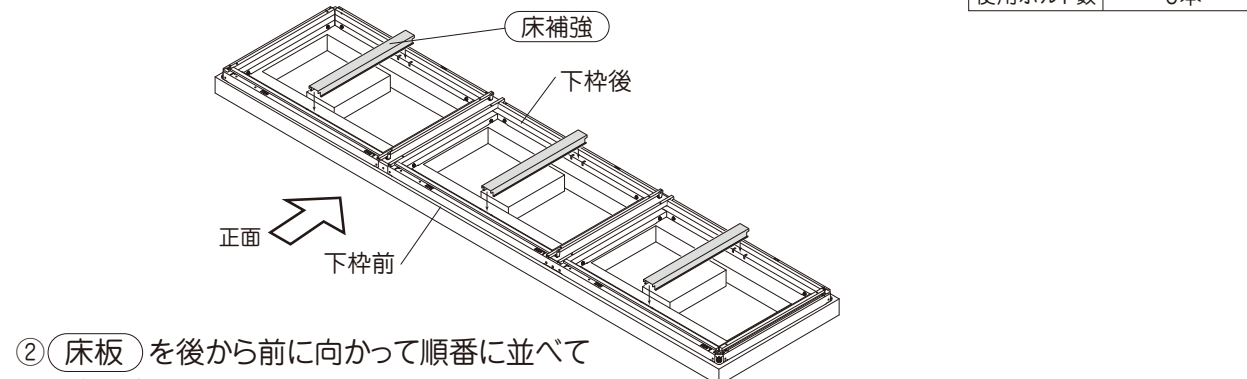
- ① (間柱固定金具)を(下枠中)の前後2ヶ所に差込み、ボルトで固定します。
- ② 下枠中を下枠接続金具中の上からかぶせて、ボルトで固定します。
下枠中の前後を間違えないようにしてください。① ② (ラベルを確認してください。)

孔が合いにくい場合は、アンカーボルトを緩めて直角・平行を出し直してください。



3 床の設置

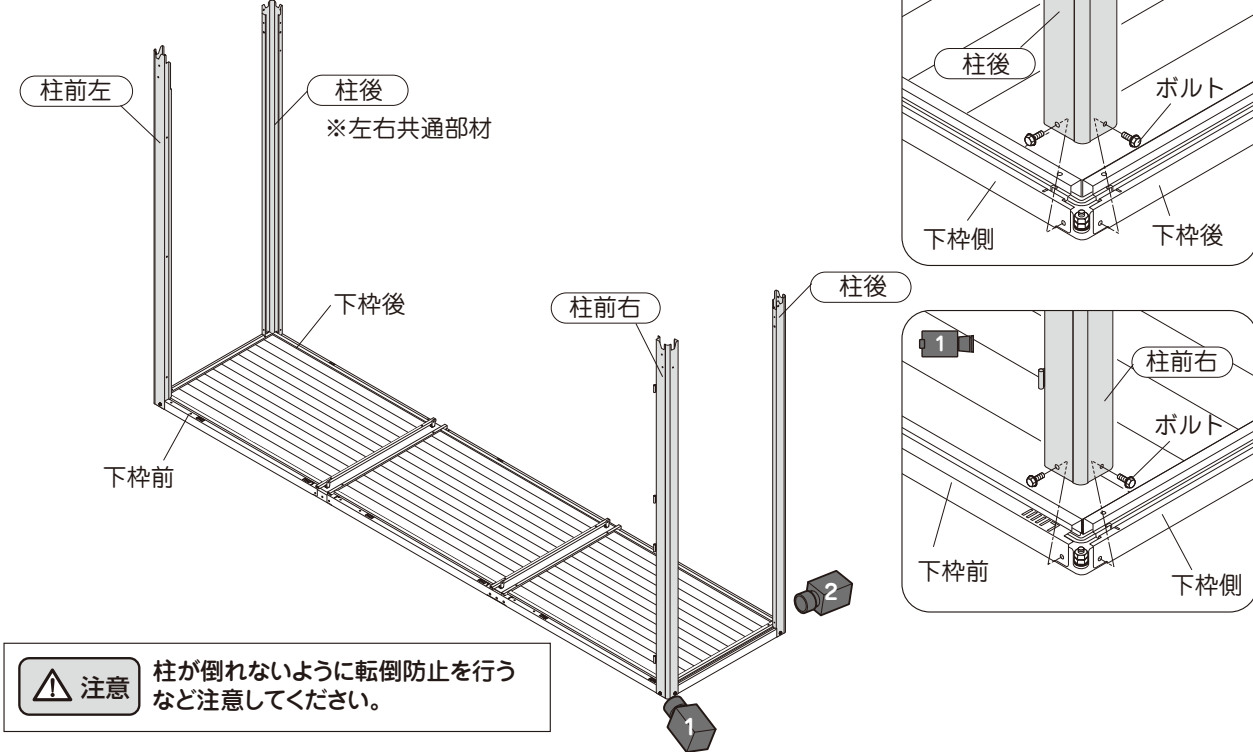
- ① (床補強)を下枠前・下枠後の切欠きに差し込んで取り付けます。



注意 床板が下枠側中に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

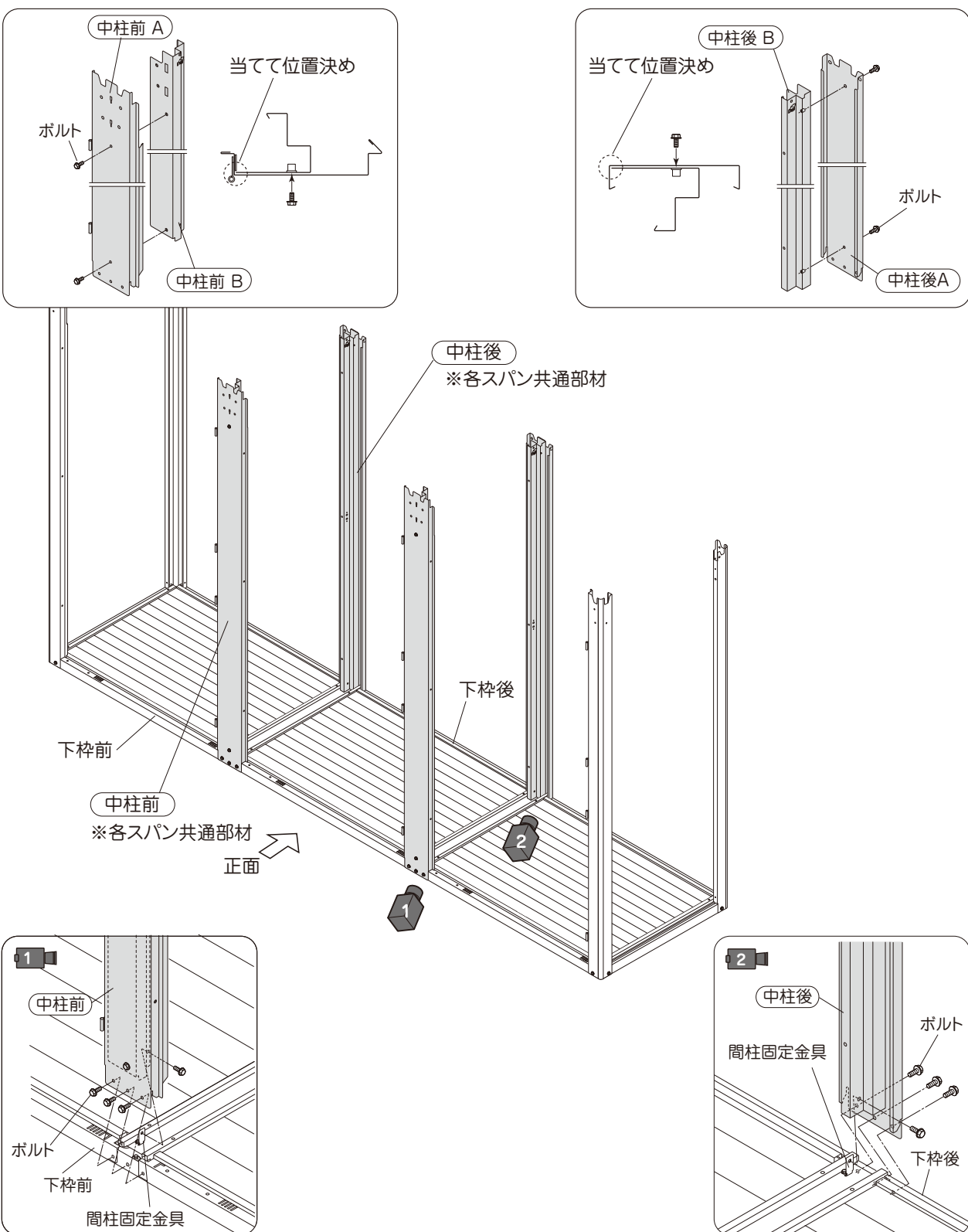
4 柱の取付け(1)

- ① (柱前右・柱前左・柱後)を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。① ②



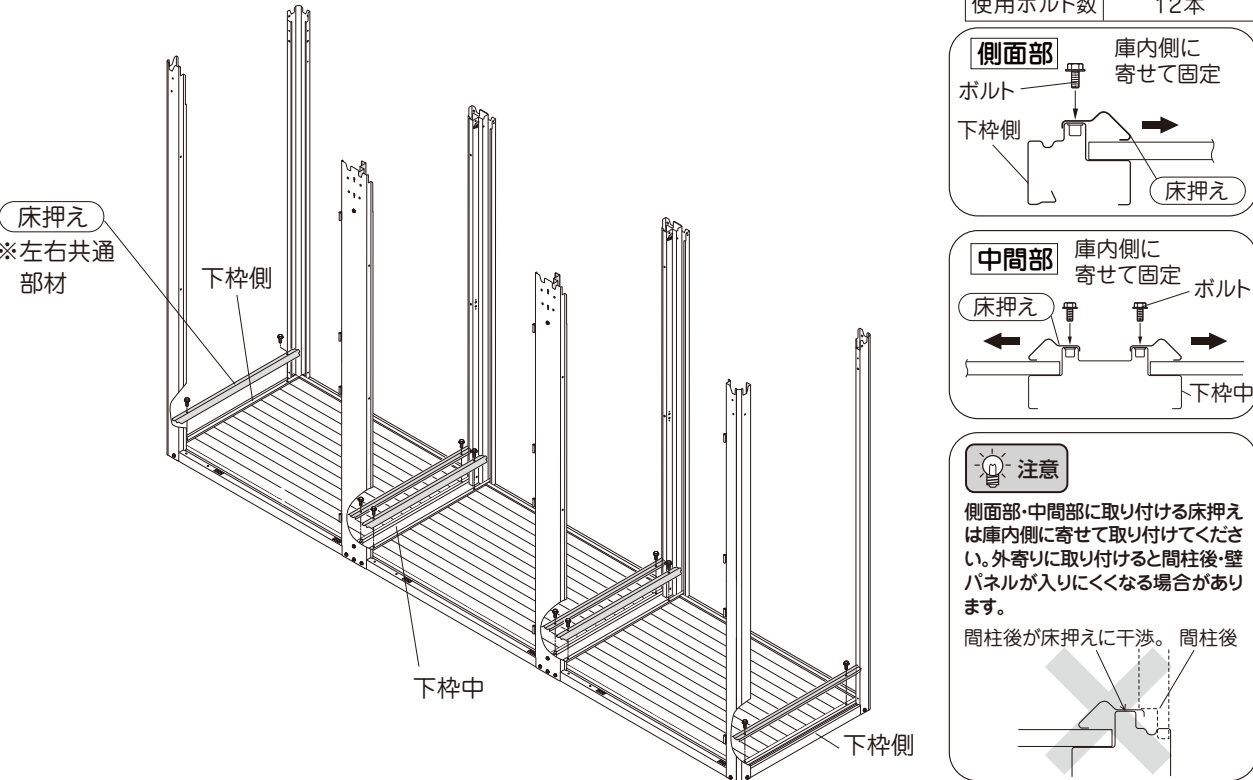
4 柱の取付け(2)

- ① (中柱前 A)と(中柱前 B)をボルトで固定し、中柱前とします。
- ② (中柱後 A)と(中柱後 B)をボルトで固定し、中柱後とします。
- ③ 中柱前・中柱後を、間柱固定金具および下枠にボルトで固定します。① ②



5 床押えの取付け

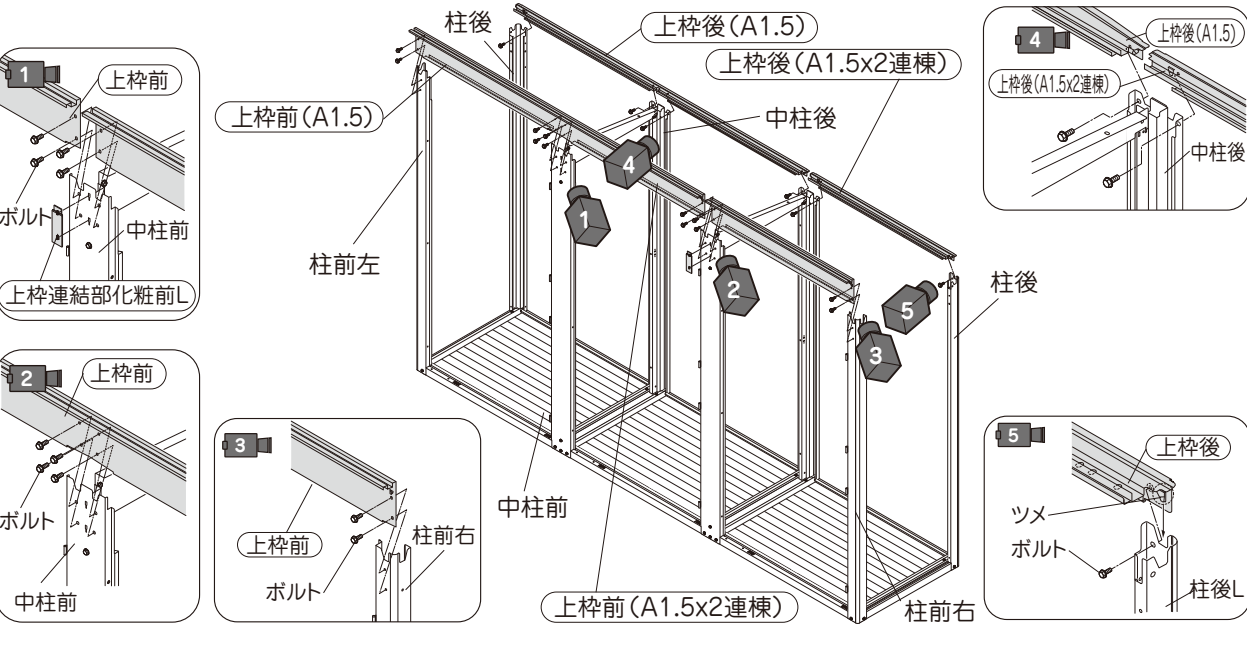
- ① (床押え)を下枠側・下枠中に取り付けます。



注意 側面部・中間部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取り付けてください。外寄りに取り付けたと間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。間柱後が床押えに干渉。間柱後

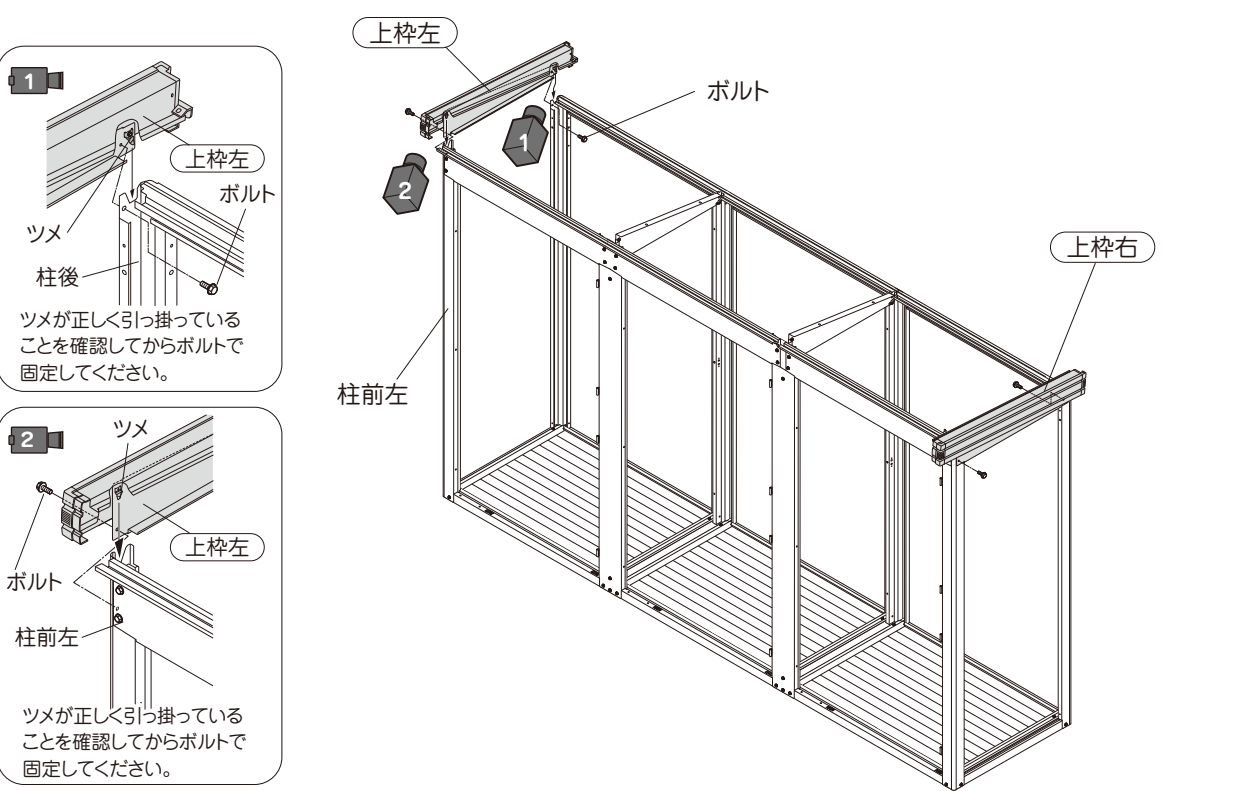
6 上枠中・上枠前後の取付け

- ① (上枠中)を中柱後のツメに引っ掛けて一時預けし、ボルトで固定します。
- ② (上枠前)のツメを柱前左・柱前右・中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。① ② ③
- ③ (上枠連結化粧前L)を中柱前(上枠前の連結部のみ)に取り付けます。④
- ④ (上枠後)のツメを柱後・中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。④ ⑤



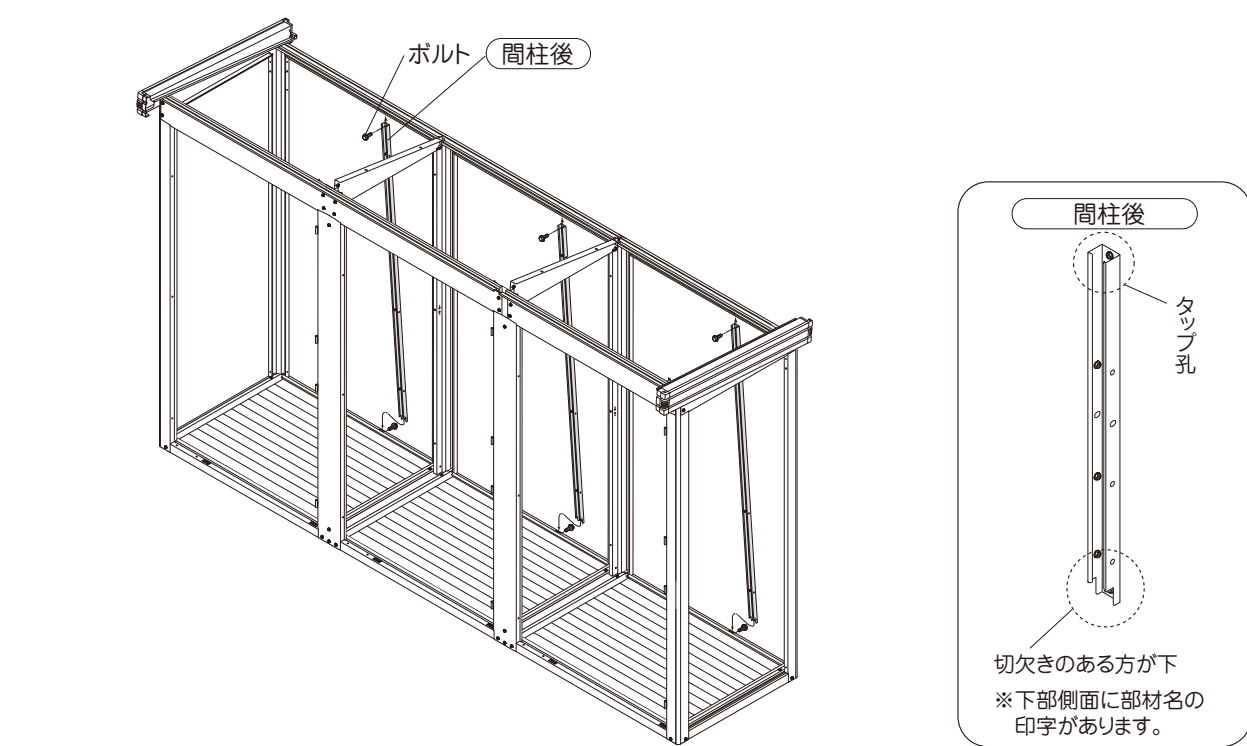
7 上枠左右の取付け

- ① (上枠左・上枠右)を柱に取り付けます。① ②



8 間柱後の取付け

- ① (間柱後)の上端を上枠後に差し込み、次に下端を下枠後に差し込んでボルト止めします。

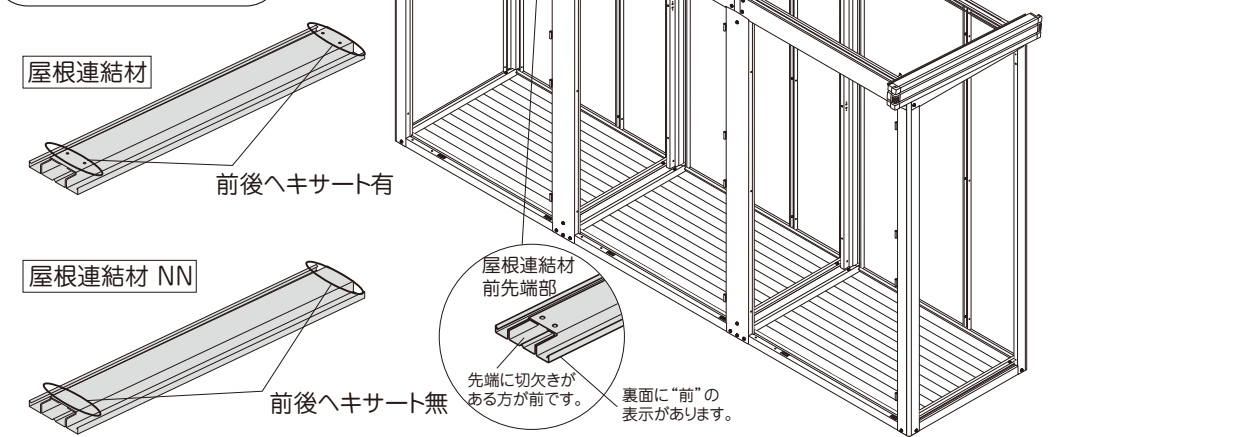


9 屋根連結材の取付け

- ① (屋根連結材)・(屋根連結材 NN)を上枠中に取り付けます。
屋根連結材は上枠前・上枠後の連結箇所に取り付けます。
その他の箇所に屋根連結材 NNを取り付けます。
取付け箇所を間違えないようにしてください。



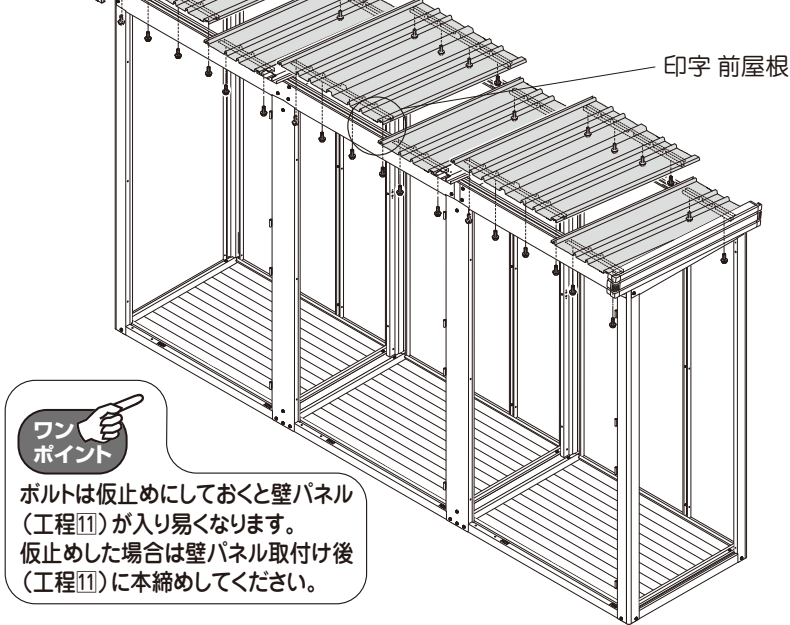
注意 屋根連結材には前後がありますので注意してください。



10屋根の取付け

- ① 〔屋根〕を右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。

※裏面に「⇒前屋根」の印字がある方を前にします。
※屋根には700mm幅と350mm幅の2種類がありますが、載せる順番に制限はありません。

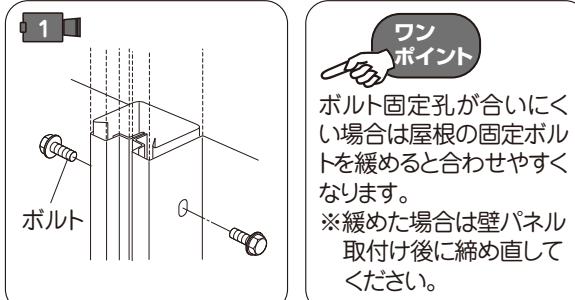
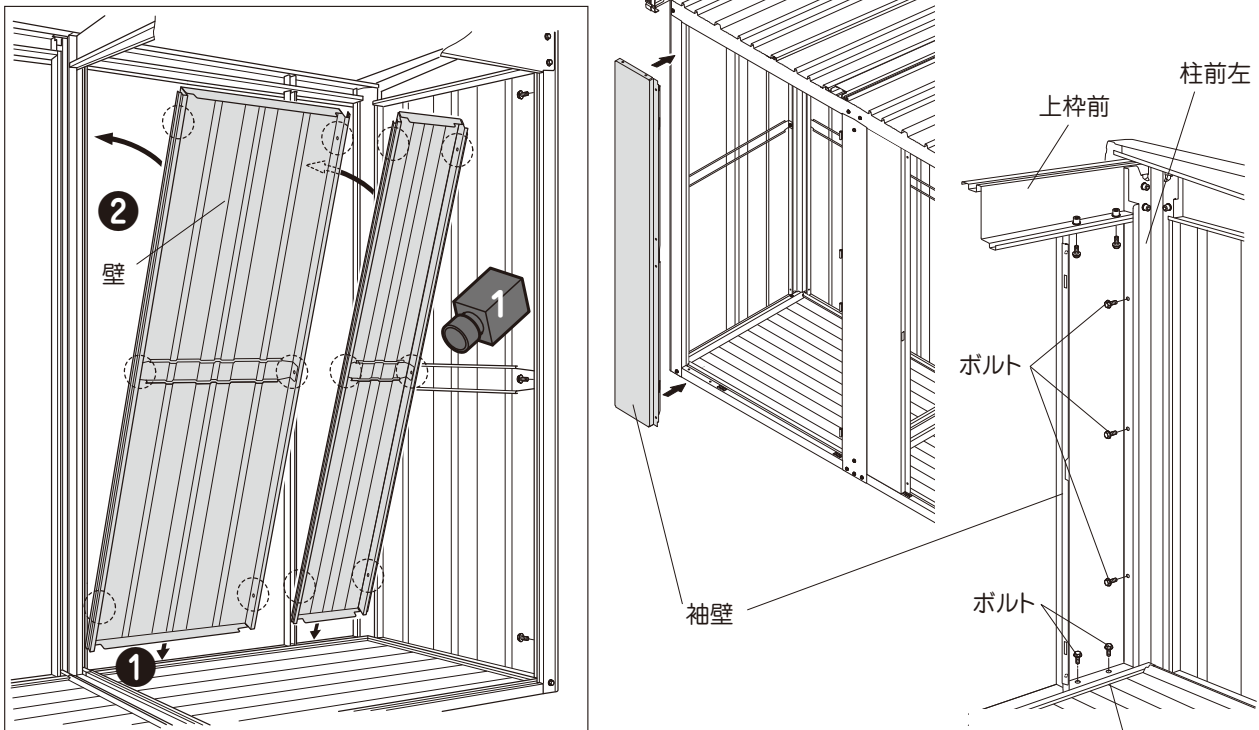


11壁パネル・袖壁の取付け

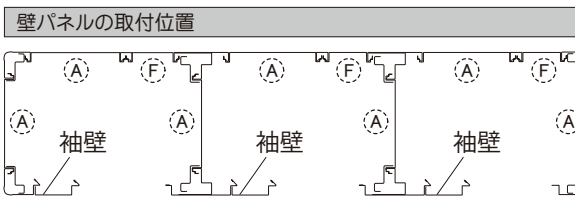
- ①室内から〔壁パネル〕をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
②柱・間柱にボルト止めします。**1**
③袖壁をはめ込み、上枠・下枠・柱にボルト止めします。

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

○はボルト固定箇所



注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり隣同士の横受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

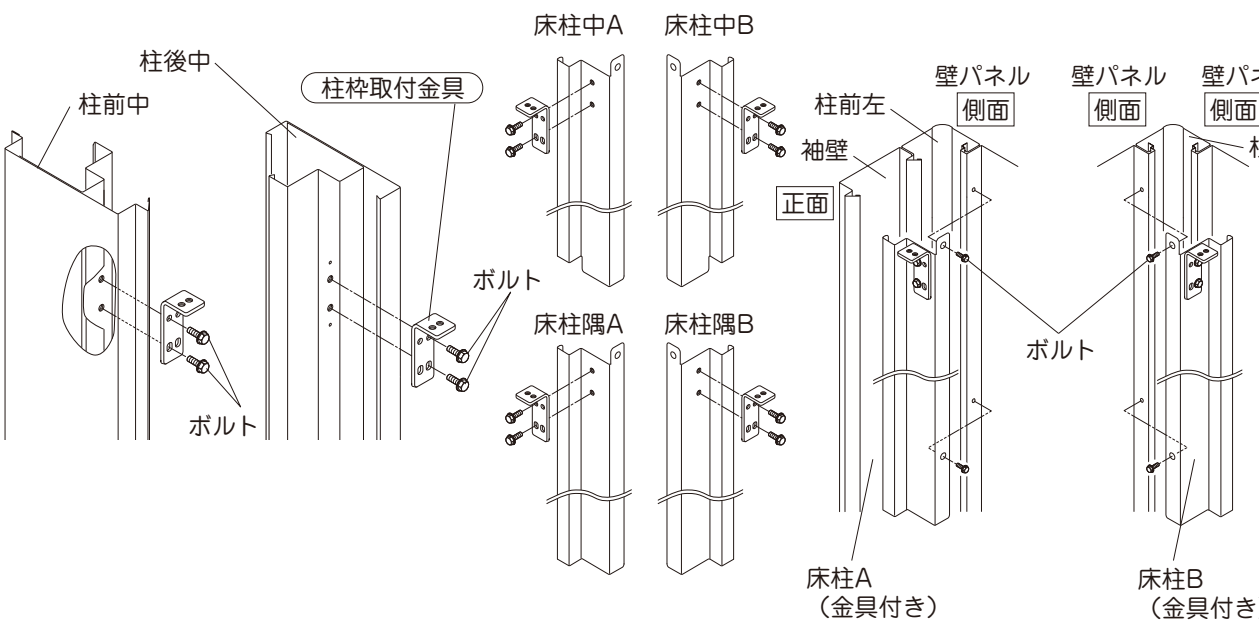


※○(破線)の箇所は壁パネル上段の2箇所のみ固定します。壁パネル中・下段の4箇所は工程12で固定します。

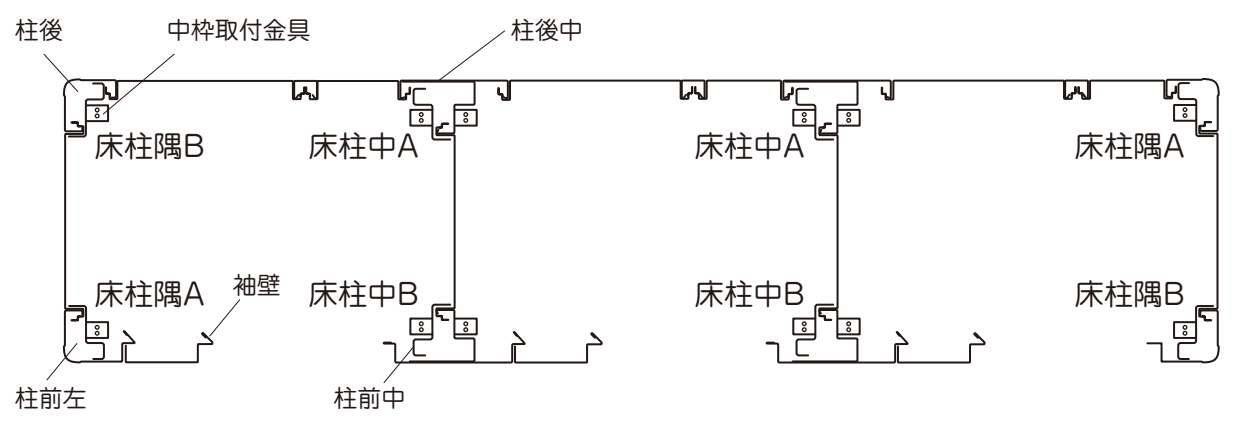
※壁パネルに上下の区別はありませんが、袖壁にはありますので鍵孔が右を向くように取付けてください。

12中枠取付金具・床柱の取付け

- ① 中枠取付金具を中柱前・中柱後にボルト止めします。
①中枠取付金具を床柱中A・B、床柱隅A・Bにボルト止めします。
②床柱中A・B、床柱隅A・Bを柱に取付け、壁パネルの中・下段と共締めします。

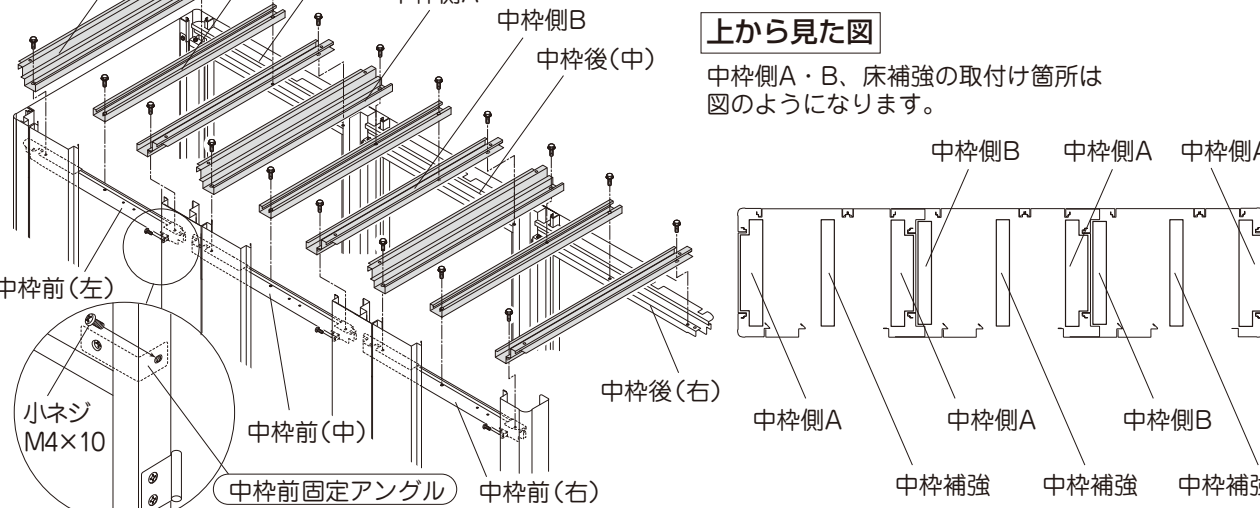
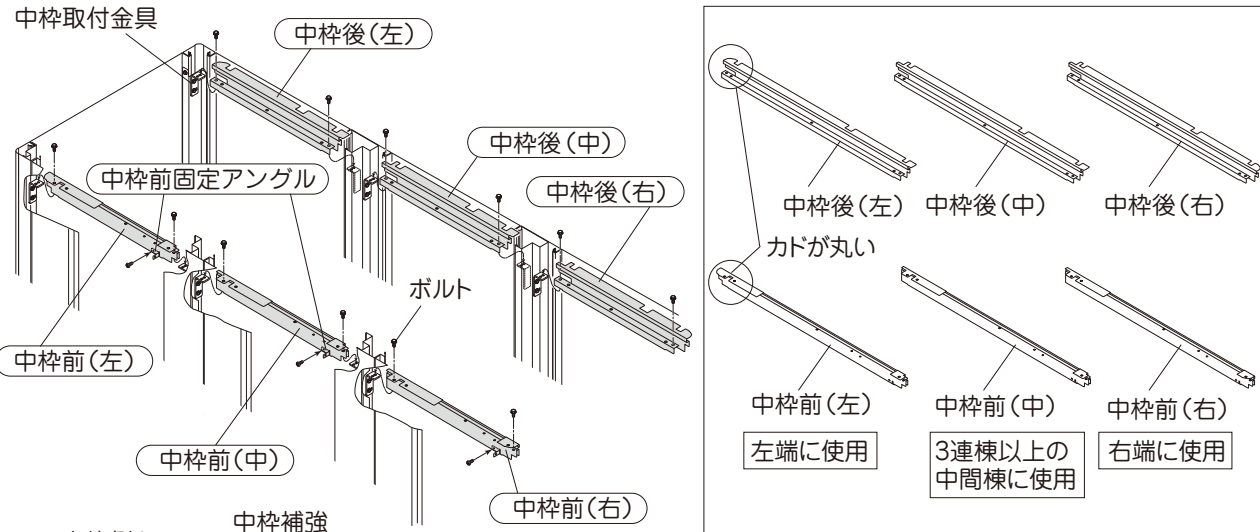


上から見た図 床柱中A・B、床柱隅A・B、中枠取付金具の取付け箇所は図のようになります。



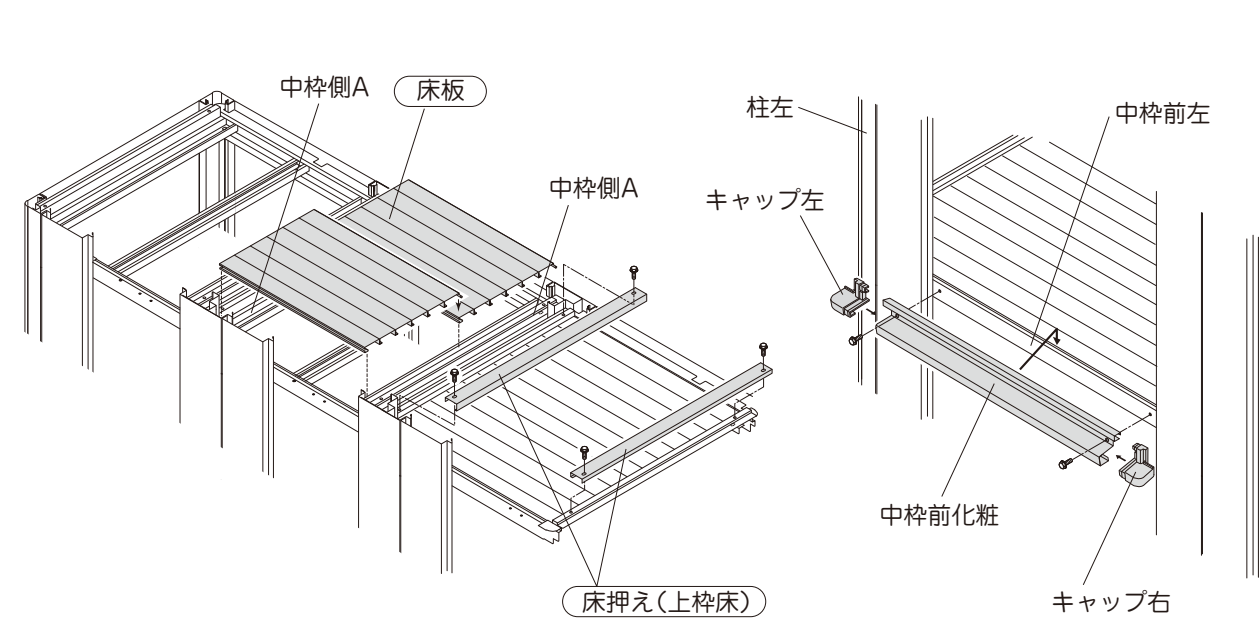
13中枠の取付け

- ① 中枠前固定L字アングルを中枠前に固定します。
② 中枠前、中枠後を中枠取付金具に載せてボルト止めします。
③ 中枠前固定L字アングルを柱前右、中柱前固定します。
④ 中枠側A・B、中枠補強を中枠前・後に載せてボルト止めします。



14床(上段)・中枠前化粧の取付け

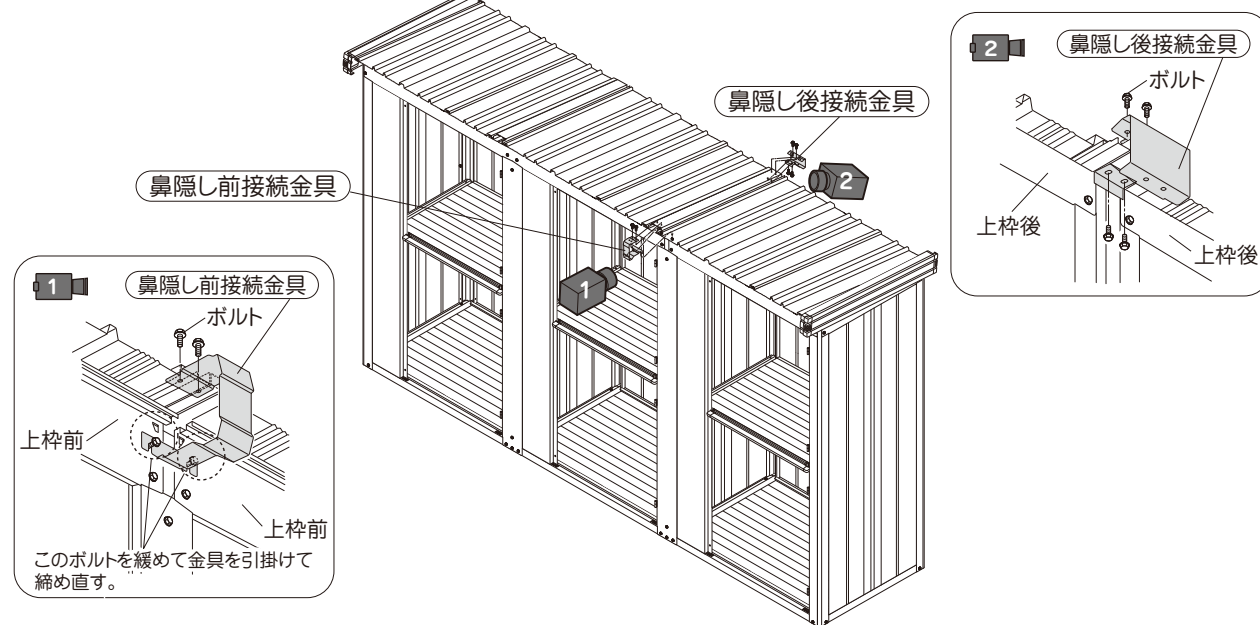
- ①床板を中枠の上へ、下段と同様に並べます。
② 床押え(上枠床)を中枠側に取付けます。
③ 中枠前化粧キャップ右(左)を中枠前化粧に差し込みます。中枠前化粧を中枠前に引掛けてボルト止めします。



15鼻隠し接続金具の取付け

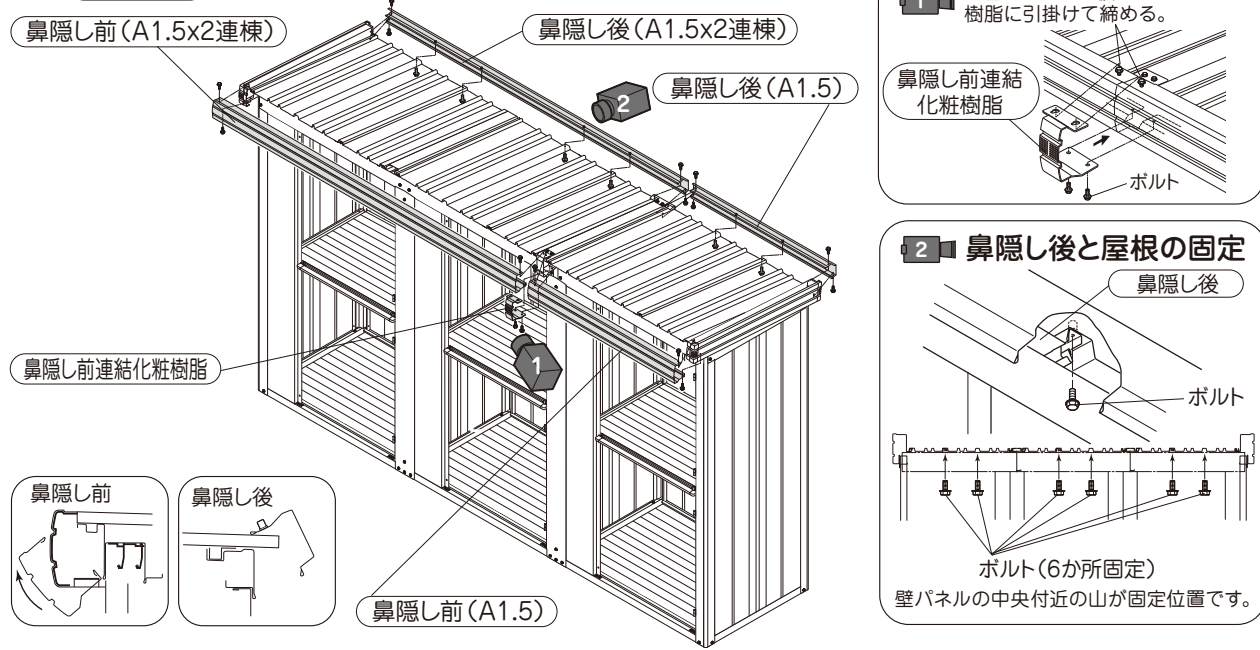
注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプションイセット」の組立説明書を先にお読みください。

- ① 鼻隠し前接続金具を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけたボルトを締め直します。**1**
② 鼻隠し後接続金具を屋根連結材の後端部にボルト止めします。**2**



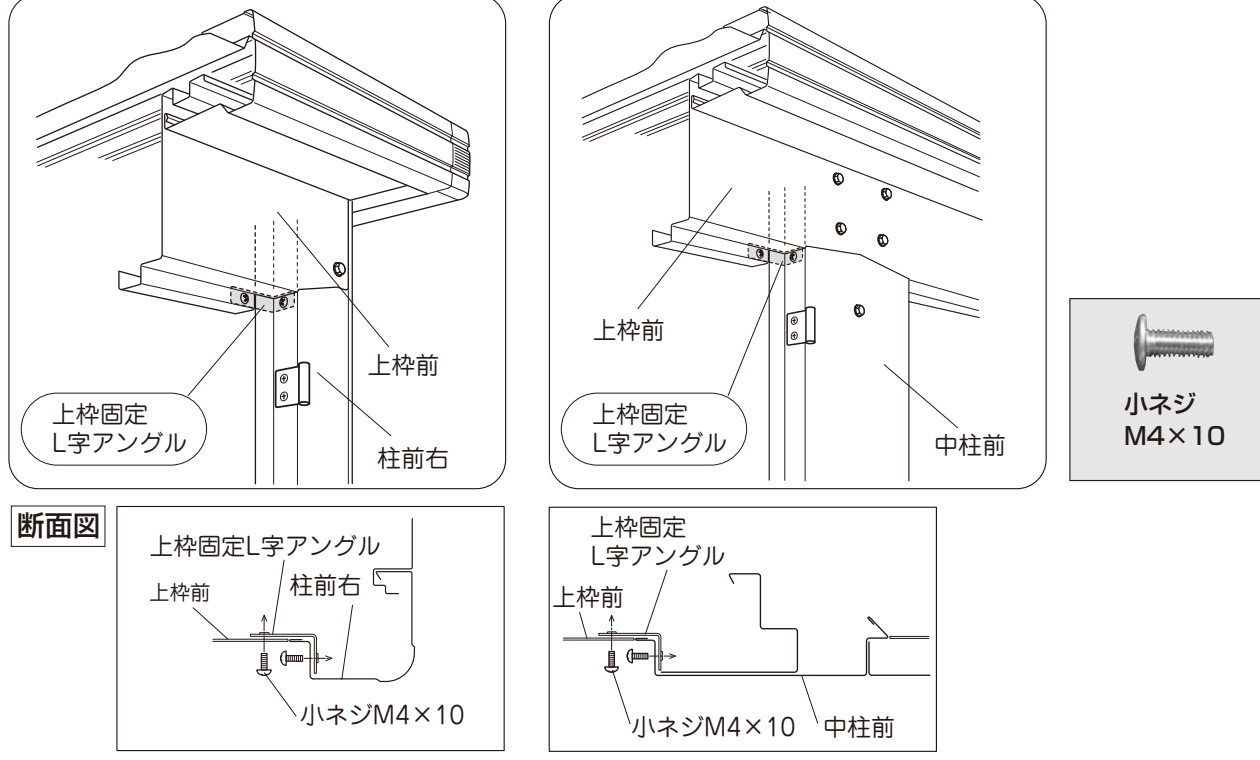
16鼻隠しの取付け

- ① 鼻隠し前をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
連結部分は鼻隠し前連結化粧樹脂を上からかぶせてボルト止めします。**1**
② 鼻隠し後をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
③ 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。**2**



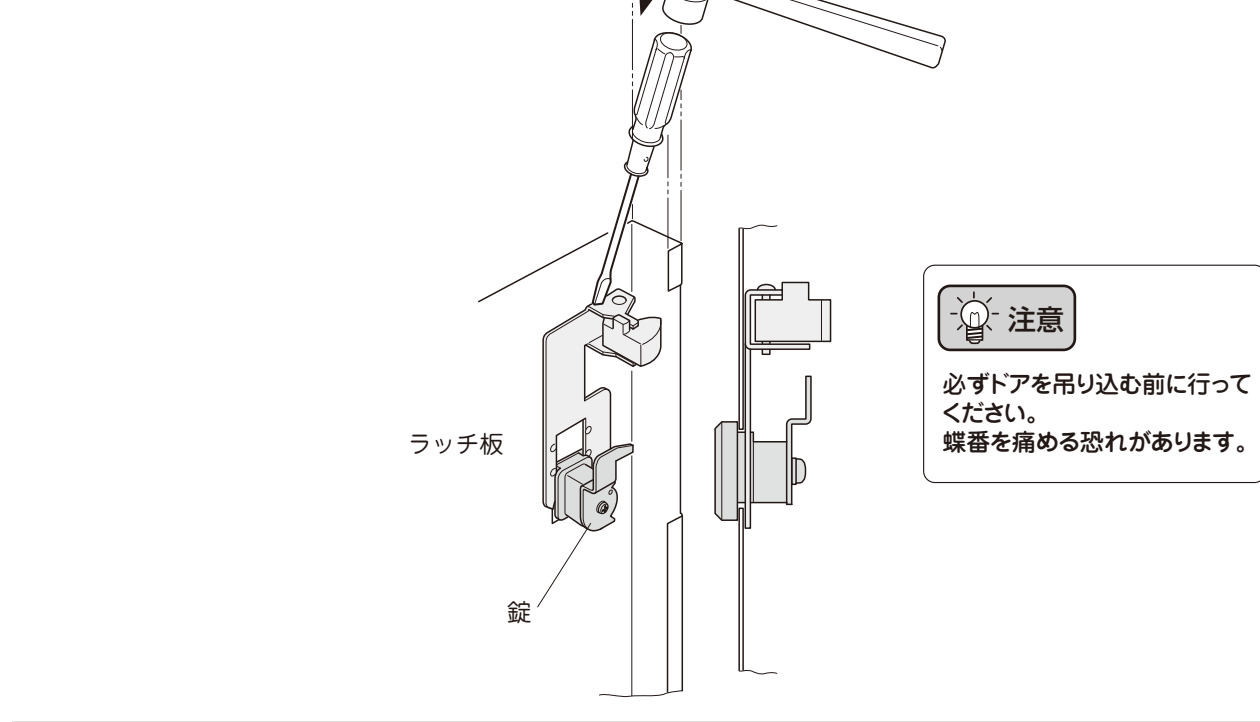
17上枠固定L字アングルの取付け

- ① 上枠固定L字アングルを上枠前と柱前右に固定します。上枠前と中柱前も同様に固定します。



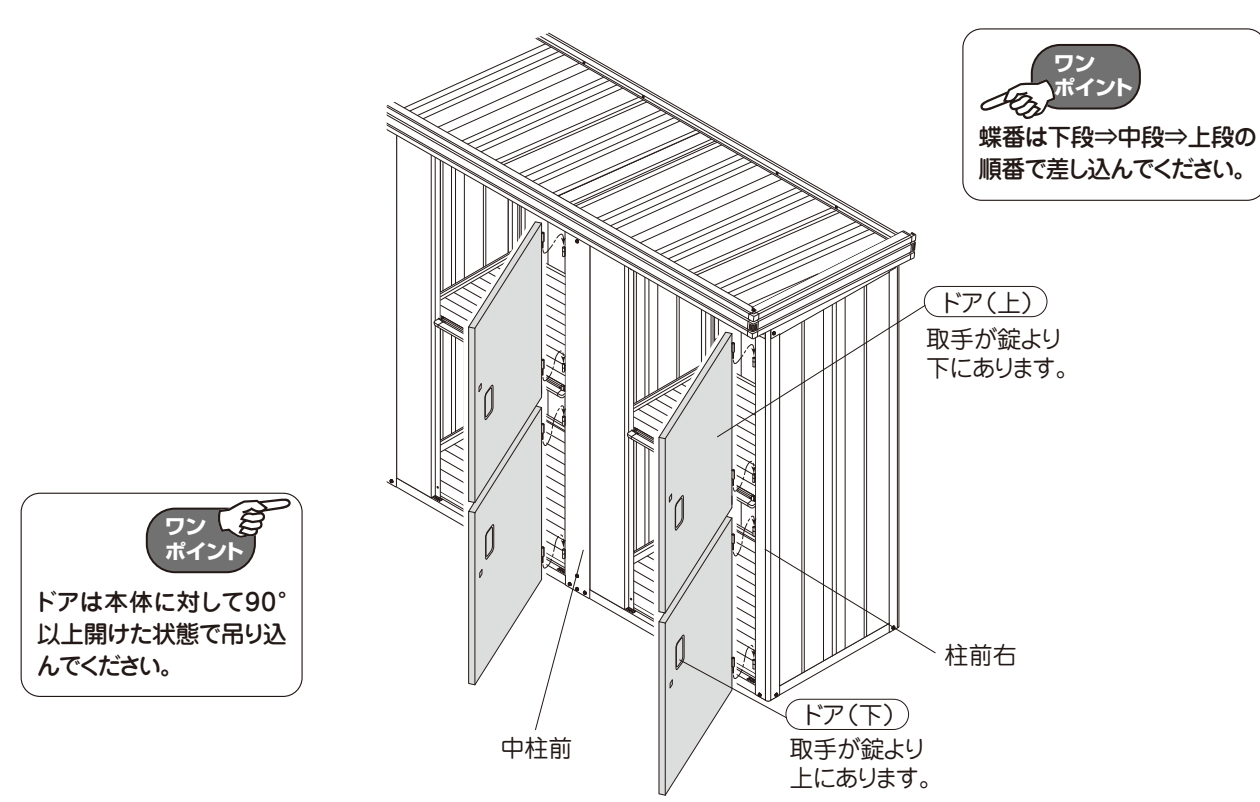
18錠・ラッチ板の取付け

- ① 錠をドアの表側から孔に入れ、裏から錠の横の溝に合わせラッチ板をたたき込みます。
ラッチ板は最後までたたき込んでください。



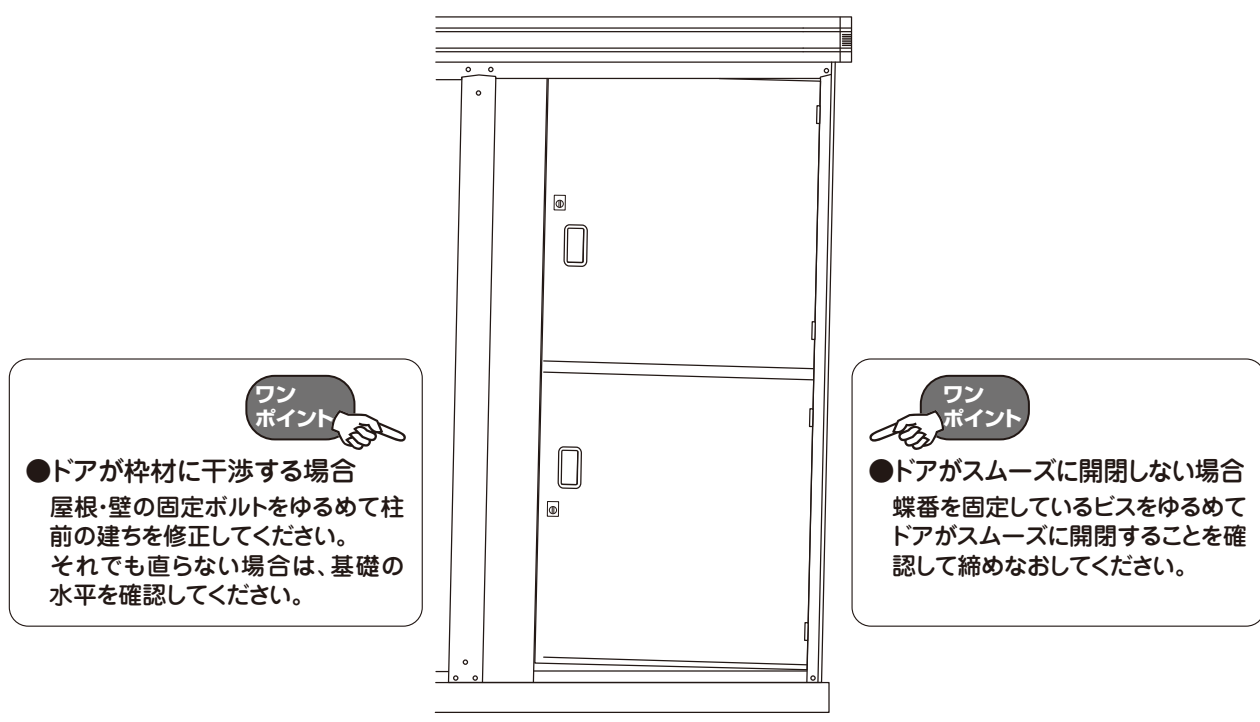
19ドアの吊り込み

- ① ドア(上)・ドア(下)を柱前右、中柱前に吊り込みます。



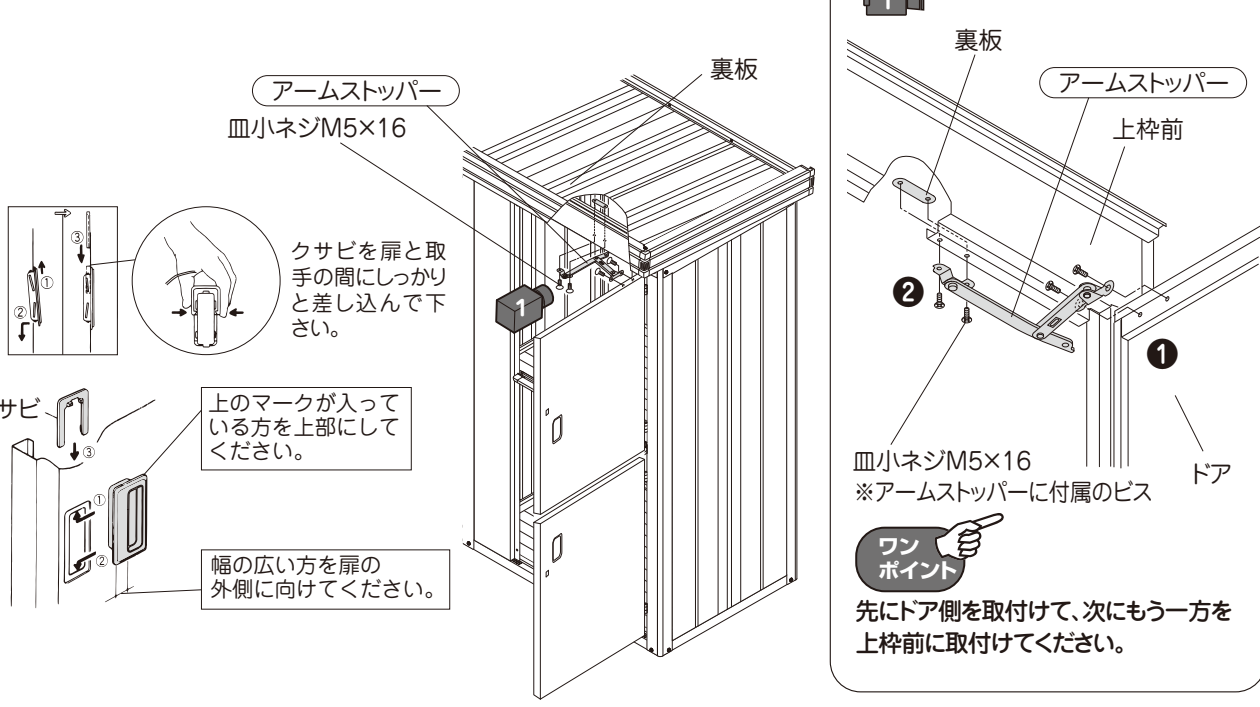
20ドア開閉の確認

- ①ドアが枠材(柱・上枠・下枠)に干渉しないか確認します。
②ドアがスムーズに開閉するか確認します。



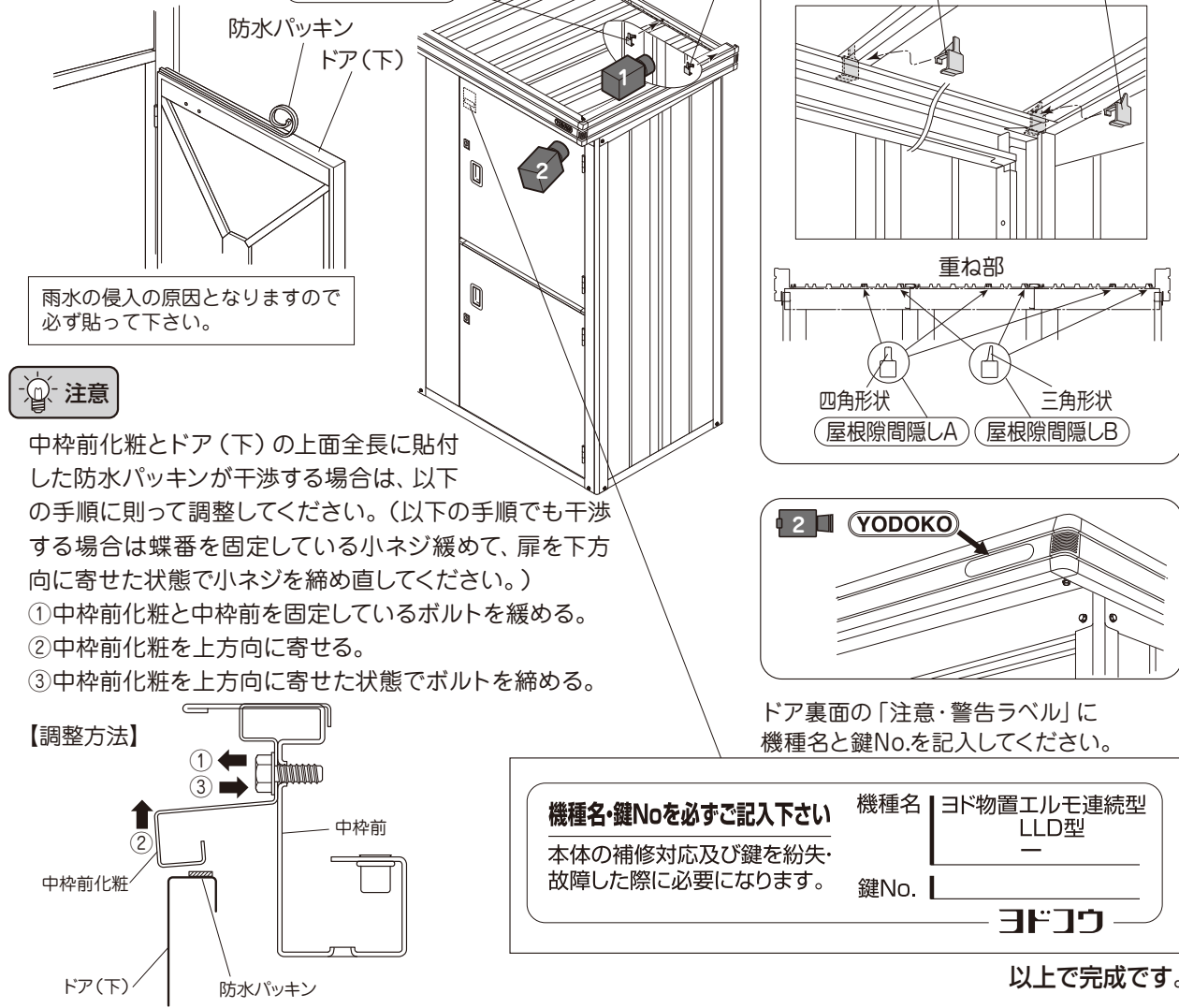
21アームストッパー・取手の取付け

- ① アームストッパーをドア・上枠前・中枠前に取付けます。
②取手をドアにはめ込みます。
③庫内からクサビを差し込んで固定します。



22その他部品の取付け

- ①ドア裏面の注意・警告ラベルに機種名と鍵No.を記入します。
② 屋根隙間隠しAを上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の、屋根と上枠右の重ね部に取付けます。
同様に屋根隙間隠しBを上枠後の、屋根と上枠中の重ね部に取付けます。**1**
③ 銘板を鼻隠し前の右端に貼ってください。
④防水パッキンをドア(下)の上面(内側寄り)全長に貼ってください。



組立てチェック
組立後に部品の付け忘れがないかご確認ください。チェック欄
①ドアの開閉がスムーズにできるかご確認ください。 ④機種名が記入されたか確認してください。
②鍵が正常に作動するかご確認ください。 (ドア裏面の注意・警告ラベル) ⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。
③棚板の配置確認をしてください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています
お客様へ 取扱説明書、保証書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。
LLD-1108N
3F3F
淀川製鋼
(2017年A制作)